

第49回すみだまつり・第54回こどもまつり ポスターコンテスト 受賞者7名の方へ ペンセットを協賛提供させていただきました



写真は受賞された5名のこどもたちです
(墨田区 文化芸術振興課 ご担当者様 撮影)

10月5日（土）・6日（日）錦糸公園・ひがしんアリーナ（墨田総合体育館）におきまして、27万名の方が来場し盛大に開催されました。

今年もポスターコンテスト受賞者7名の方に、当社製ペン先を使用した「ペンセット」を贈呈させていただきました。将来を担うこどもたちが明るい夢を描けますように、これからもものづくりを通じて、地域社会に貢献する取り組みを行ってまいります。



ご対応いただきました
墨田区 地域力支援部
文化芸術振興課
の皆様です

米国雑誌 「 Newsweek International 」 への 社長インタビュー記事掲載について

「 Newsweek International 」 2024年9月20日発行号に、弊社代表取締役社長 栗原 則義のインタビューに基づく記事が掲載されました。あわせまして、弊社広告も掲載いたしております。さらに2024年10月3日に英国通信会社 Worldfolio社のWebサイトにおいて、インタビュー内容詳細が掲載されました。

Newsweekは全世界に5500万人（Web含む）の読者を持つ米国を代表する政治・経済・社会情勢などを扱う週刊誌です。

掲載記事は下記リンクより閲覧いただけます。

【 記事広告 】

Newsweek International 2024年9月20日号

<https://www.newsweek.com>

AuBEX: Precision Technology for Medical Innovation

Aubex Corporation, known for its high precision pen nib processes, has launched a medical division focused on advanced infusion technology. *By Paul Mannion*



"Our core technology is pen-nib extrusion applied to medical innovations."

Norigi Kurihara, President, AuBEX



AuBEX Corporation, a company with over 130 years of history, is making significant strides in the medical industry with its cutting-edge product, the VESSEL FUSER, a pressurized medicament injector. Initially renowned for its precision in pen nib manufacturing, AuBEX used its technical expertise

to successfully develop advanced medical devices, which it began working on in the 1990's and launched in 1996.

"By applying our pen-nib extrusion technology, we've been able to innovate in the medical field without being confined to our original domain," says Norigi Kurihara, president of AuBEX. This adaptability has allowed the company to transition from producing high-precision pen nibs to creating sophisticated medical devices like the VESSEL FUSER.

The VESSEL FUSER, which features a unique combination of a control tube and a flow rate switching device, is a standout product in its portfolio. Unlike similar devices, which offer only 3 to 7 levels of flow rate adjustment, the VESSEL FUSER boasts 12 levels, providing doctors with greater flexibility to manage pain for their patients. "This contributes to improving patients' quality of life by allowing more precise control over pain management," Mr. Kurihara explains.

Since its launch, the VESSEL FUSER has become AuBEX's flagship product, initially used primarily for post-operative pain but now expanding into home healthcare and painless delivery



VESSEL FUSER for Chemotherapy

VESSEL FUSER for Labor Analgesia



Cosmetic tip

Precision extrusion technology

applications. The device's portability and ease of use make it suitable for various healthcare settings, offering significant advantages over traditional mechanical infusion pumps.

Looking forward, Mr. Kurihara emphasizes the company's commitment to innovation: "We aim to develop new medical products by utilizing our extrusion technology and fine flow control expertise." With its strong foundation and focus on quality, AuBEX is poised to become a significant player in the global medical device market.

【 インタビュー内容詳細 】

The Worldfolio 2024年10月3日掲載

<https://www.theworldfolio.com/interviews/aubexs-cuttingedge-future/6443/>

月刊 Newsがわかる 特別編 「 渋沢栄一がわかる 改訂版 」 に 紹介されました

この度、毎日新聞出版社株式会社発行「月刊 NEWSがわかる 特別編 『 渋沢栄一がわかる 改訂版 』」に当社が紹介されました。「月刊 Newsがわかる」は、小中学校のほか、学習塾の副教材としても活用されていて、時事問題が出題されることが増えた中学、高校受験にも役立つ本となっております。

実業家として500以上の会社設立に携わるだけでなく、学校教育や社会福祉事業の運営などにも生涯に渡り熱心に取り組む姿勢を取り上げた内容が、小中学生にもわかりやすく解説されています。

渋沢栄一が創業者であり、130余年続いている当社事業の変革を紹介する内容となっております。これからも『ものづくり』を通じて、未来を担う子どもたちが夢を持てる明るい未来を応援してまいります。



出典：月刊NEWSがわかる特別編・渋沢栄一がわかる改訂版

オーベクス株式会社

オーベクス株式会社（経営者兼社長）は、マーカ-などのペン先と医療機器などを作っている会社です。そのはじまりは130年以上前に「渋沢栄一」が創立した、日本の西洋帽子を作る会社でした。帽子からペン先、そして医療機器へ。栄一から受け継いだ「変わらざるに変わり続ける」精神とは？

帽子を愛した渋沢栄一が作った会社

創業まで試行の連続したのは、「フェルト」または「オーカーハット」と呼ばれるクラウン（冠の形）が美しい帽子です。王の御用（1910～15年）から、アメリカで展開されたもの、栄一の発見。

最新型のフェルト帽、高級はかりいフェルト製、リボンが美しい、つばは開閉に付属品がついている。最新型帽子のエンブレム（商標）がつけられている。

1929年、東京帽子の誕生

「渋沢栄一」のトレードマークは黒い帽子。この帽子は自らが発見し、17年間にわたって改良をつとめた「東京帽子株式会社」の製品です。明治時代、西洋化が二波に促され、二波の文化にも帽子が広まってきました。しかし、当時の帽子はイギリスやフランスなどから輸入された高級品ばかり。洋装は帽子を国産化することで、自家の工業化と経済的自立をはかろうと考えました。そこで1929年、52歳の時に西洋帽子の製造会社を設立、取締役社長に就任しました。これが「オーベクス株式会社」のはじまりです。

明治時代の帽子事情

文明開化の1871年に欧米風の出でると、男性は髪を切り、徐々に帽子をかぶるようになりました。渋沢栄一は「リリ」の発明に感銘を受けた。いち早く後述で髪を切りおとし、シルクハットで髪を整えています。洋装やシルクハットをかぶることは、明治時代の紳士のたしなみでした。

「人と社会に正しい貢献を」

世界のトップレベルの文房具作りを支える！

最先端で高い技術が必要な「ペン先」作り。フェルト帽子を作る技術を活用して、写稿機部品を利用した「ペン先」を開発しました。

1958年～

筆先のペン先を開発（1976年、0.8mmのプラスチックペン先）

帽子の売り上げが激減 そうだ、「ペン先」を開発しよう!!

紙の普及になると、帽子の売り上げは激減してしまいます。そこで、フェルト帽子を作る技術を活用して、「ペン先」を作り始めました。さまざまな開発・工夫を重ね、今ではサインペンやボールペン、筆ペン、油性ペン、ホワイトボードマーカ-向けなど約3000種類のアイテムを、1カ月に約1種ずつ開発しています。

1996年～

化粧品用のチップやフレグランスにも

ペン先製造の技術は、アイライナーやネイルアートなどのコスメ用のチップにも生かされています。フレグランス用品のスティックにも使われています。

Q 「オーベクス」ってどんな意味？

A 創業以来、約90年続いた「東京帽子」から「オーベクス（AUBEX）」に社名を変更したのは1985年。直前は、前の方を意味するフランス語の「AUBRE」と、鼻、鼻筋を意味する「EX」を組み合わせた、「広がる未来」という意味をこめてです。

会社DATA

- オーベクス株式会社
- 〒130-0026 東京都葛飾区西葛西4-31-11
- ヒューリック興業ビル9階
- ステーションナリ-用ペン先、コスメチック用チップ、医療機器の製造販売
- ホームページ <https://www.aubex.co.jp/>

ペン先の製造技術を医療機器に応用

ペン先製造技術を生かして医療分野にも進出。手術後や出産時の痛みをおさえる麻酔薬や、注がん剤などを体内に入れる医療機器などを作っています。薬の量をきめ細かくコントロールするためのチューブの開発には、インクを一定量に制御するためのつちがわかれた技術が応用されています。

写真提供：オーベクス株式会社

SUMIDA FOOTBALL PARK

2023.9.9 KINSHIPARK

へ協賛をいたしました



9月9日（土）墨田区錦糸公園におきまして盛大に開催されました「SUMIDA FOOTBALL PARK」に協賛させていただきました。

主催の一般社団法人日本ストリートサッカー協会様の『「SUMIDA FOOTBALL PARK」は、年齢も性別も関係なく、みんなでサッカーを楽しむ場です。簡単なルールを覚えて一緒にサッカーを楽しみましょう！体験会やMINI大会を行います。『勝ち負け』よりも、まずは、「勇気を出して挑戦してみる」、「友達とサッカーを楽しむ」機会にして欲しいと思います、そして、体験会やMINI大会を通し、皆さんの新たな友達作りにも繋がったら嬉しいです。』という開催コンセプトに賛同いたしました。

この度も、後援されている墨田区の「区民が気軽にスポーツを『する』『みる』『ささえる』ことができる機会を提供するとともに、人と人をスポーツを通して『つなげる』事業」に賛同し、これからも地域社会に貢献する取り組みを行ってまいります。



撮影にご協力いただきありがとうございました

SUMIDA FOOTBALL PARK 公式ホームページ <https://www.streetfootball.jp/sumida-football-park20230909>

SUMIDA FOOTBALL PARK / YouTube <https://www.streetfootball.jp/post/sumida-football-park---youtube>

2023 みどりの里 『納涼 盆踊り大会』 に寄贈させていただきました



写真は、白井工業団地協議会 専務理事 染谷敏夫 様（右）、
当社 千葉コアセンター長 片山（左）です。

当社 千葉コアセンター（所在地：千葉県白井市河原子）が会員となっております
「一般社団法人 白井工業団地協議会（共催団体として参画）」を通じて、「2023
みどりの里 納涼 盆踊り大会 主体：白井第二小学校区みどりのさとづくり協議会
（2023年8月4日）」開催にあたり、物品協賛として“マーカーペンセット”を寄贈
いたしました。

これからも地域との「絆」のために、地域に根ざした社会貢献活動に取り組みを行っ
てまいります。



かぐろ杜の保育園・ちいさな杜の保育園 『夕涼み会』に寄贈させていただきました



写真は、ちいさな杜の保育園 園長 富田正聡 様（中央）、かぐろ杜の保育園 保育士様（右）
当社 千葉ニューテックセンター長 笹間（左）です。

当社 千葉ニューテックセンター（所在地：千葉県印西市鹿黒南）から5分ほどの距離にあります「社会福祉法人 すくすくどろんこの会 かぐろ杜の保育園・ちいさな杜の保育園（所在地：千葉県印西市鹿黒南）『夕涼み会』」の開催にあたり、昨年に続き今年も、こどもたちが笑顔になりますように、という想いを込めて“腕につけることができる”うさぎバルーン”を寄贈させていただきました。

社会福祉法人 すくすくどろんこの会様の保育理念「生きる力を育てる」に賛同し、将来を担うこどもたちの明るく健やかな成長を願い、企業として地域社会貢献の一助として、引き続き取り組みを行ってまいります。

かぐろ杜の保育園



ちいさな杜の保育園



オーベクス株式会社 は “ すみだ水族館 ” の 『 AQTION! SUPPORTER 』 に参画しました

昨年、開業10周年を迎えました『すみだ水族館：東京スカイツリータウン(R)・ソラマチ 5F・6F』は、サステナブル活動として2021年12月に「AQTION!」をスタートしました。「『AQUARIUMからはじまる ACTION だから、AQTION!』人間も動物も植物も。海も空も大地も。地球まるごと、健康でしあわせな未来をつくることを目標」とされております。

みらいをつくるこどもたち、未来へつづく地球のため のすみだ水族館の活動に賛同し、AQTION! SUPPORTERとして 応援してまいります。



AQTION! 1
アクアアカデミー
教育・環境教育

未来へ伝える 未来にのこす
AQTION!
SUMIDA AQUARIUM



AQTION! 2
東京金魚プロジェクト
伝統・文化の継承



AQTION! 3
地域とつながる水族館
地域共創



AQTION! 4
地域の生物の保全
東京の環境を守る



AQTION! 5
小笠原村との連携
東京の自然遺産を発信



すみだ水族館内の“ AQTION! 紹介ボードにて、
弊社名プレート を掲示いただいております

2023 すみだボクシング祭 への協賛をいたしました



5月20日（土）墨田区総合体育館3Fサブアリーナにおきまして盛大に開催されました「2023すみだボクシング祭」に協賛させていただきました。当日は、多くのゲストチャンピオンのトークイベントや様々な体験エリアも併設され、訪れていたたくさん子どもたちで賑わっていました。墨田区の「区民が気軽にスポーツを『する』『みる』『ささえる』ことができる機会を提供するとともに、人と人をスポーツを通して『つなげる』事業」に賛同し、これからも地域社会に貢献する取り組みを行ってまいります。



運営ボランティアの方にも快く撮影許可をいただきました



墨田区 企画経営室・地域力支援部の皆様

北区飛鳥山公園の魅力向上事業 「shibusawa hat（シブサワハット）」へ “シルクハット・山高帽”の貸与、 公園花壇への協賛 をいたしました

この度の 北区飛鳥山公園魅力向上事業「shibusawa hat」開業に伴いまして
渋沢栄一 が 取締役会長 となり日本で初めて創立した西洋帽子製造会社（創立
当時 東京帽子株式会社、現 オーベクス株式会社）として、当社所蔵の
『シルクハット・山高帽（年代不詳）』を貸与させていただきました。
現在 “shibusawa hat コミュニティスペース” に展示いただいております。
また、四季を通じて季節ごとに公園が彩りに満ちる “花壇” への協賛もさせて
いただきました。
かつて渋沢栄一が居を構え国内外の方々をもてなした飛鳥山が、これからますます
多くの方が集う場所となりますようお願いしております。

2023年3月21日

オープニングセレモニー中の帽子展示の様子
しぶさわくん と一緒に



現在
コミュニティスペース 帽子展示の様子



プロジェクトの代表法人を務められている 大日本コンサルタント株式会社様
<https://www.ne-con.co.jp/news/20230322news/>

第47回すみだまつり・第52回こどもまつり ポスターコンテスト 受賞者7名の方へ ペンセットを協賛提供させていただきました



写真は、受賞された7名のこどもたちと
墨田区長 山本 亨様（後列左から2番目）です

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、過去2年間は会場での開催ができませんでしたが、今年は10月1日（土）・2日（日）に対策を行ったうえで、3年ぶりに錦糸公園・墨田総合体育館におきまして盛大に開催されました。今年もポスターコンクール受賞者7名の方に、当社製ペン先を使用いたしました「ペンセット」を寄贈させていただきました。将来を担うこどもたちが明るい夢を描けますように、これからもものづくりを通じて、地域社会に貢献する取り組みを行ってまいります。



ご対応いただきました
墨田区 地域力支援部
文化芸術振興課 の皆様です

かぐろ杜の保育園・ちいさな杜の保育園

『夕涼み会』に寄贈させていただきました



写真は、かぐろ杜の保育園 鈴木ひろみ園長先生（左）と、
当社 千葉ニューテックセンター長 笹間（右）です。

当社 千葉ニューテックセンター（所在地：千葉県印西市鹿黒南）から5分ほどの距離にあります「社会福祉法人 すくすくどろんこの会 かぐろ杜の保育園・ちいさな杜の保育園（所在地：千葉県印西市鹿黒南 理事長 綿貫善弘様）『夕涼み会』」の開催にあたり“当社製ペン先を使用した製品”と、“腕につけることができるパンダバルーン”を寄贈いたしました。

今年のコロナ禍での開催となります『夕涼みの会』に、少しでも多くのこどもたちが笑顔になりますように、という想いを込めて寄贈させていただきました。

これからも将来を担うこどもたちの明るく健やかな成長を願い、企業として地域社会に貢献する取り組みを行ってまいります。

かぐろ杜の保育園



ちいさな杜の保育園



オーベクス株式会社は “南葛SC” と パートナーシップを締結しました

南葛SCは、漫画『キャプテン翼』の原作者である高橋陽一氏がクラブのオーナー 兼 代表を務めるサッカークラブ（関東リーグ1部）です。

漫画の主人公「大空翼」が所属するチーム名と同じ「リアル南葛SC」は、Jリーグ参入に向けて今シーズンから稲本選手や今野選手ら「ワールドカップ」出場経験もあるレジェンドたちも加入し、夢を現実のものにしようとしています。

現在も連載中の『キャプテン翼』は高橋陽一氏が40年以上、子どもたちの夢を描き続けています。

世界中の子供たちが「翼くん」にあこがれてサッカー選手を目指し有名プレイヤーになった選手が国内外にたくさんいます。

130年続く当社は、1958年から64年間、ペン先を製造し続けることで『書く、描く』文化を育んできました。

スポーツ振興を通じて、子どもたちの心身の健やかな発達と夢を持って明るい未来を描けるような世界を目指して、南葛SCのゴールに向かって走る夢を、私たちも一緒に追いかけていきたいと思えます。



南葛SCホームページ <https://www.nankatsu-sc.com/>

秋山選手 安羅選手 楠神選手 村越選手
と一緒に

